

○議長（堀内春美さん）

日程第2 一般質問

質問の通告者は、6名であります。これから、通告順に一般質問を行います。

それでは、通告1番 11番 鮫田洋平君の一般質問を行います。

11番 鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

改めましておはようございます。今回も提案型の質問を2点考えさせていただきました。最初に登録制町内事業者マッチング窓口の設置です。9月20日の町長の町政報告会の中で町長からも話がありましたが、中小零細企業の活性化について改めて私の方から、メリットデメリットを踏まえて提案していきたいと思っております。富士川町総合計画では、安全安心に暮らせるまちづくりと地域経済の活性化を基本理念としており、これを実現するためには、町民と事業者が協働することが不可欠です。近年、富士川町においては、他県からの訪問販売や、高額請求のトラブルが発生し、町民の安心安全な暮らしが脅かされています。このような課題を解決するために、町内事業者と町民が、町民を効果的にマッチングする窓口の設置が求められています。現状本町の町内事業者は行政との設定が限られており、受注機会の拡大や共同事業への参画を強く望んでいます。そして町民からの依頼等の相談窓口が十分に整備されていないため、必要とする町民と事業者が出会う機会が少ないという声も寄せられています。このような状況を改善するため、行政を通じたマッチング機能の導入が期待されます。他の自治体では既に成功事例が見られます。例えば、千葉県市川市では、窓口業務を民間に委託し、住民からの紹介を受けて事業者とのマッチングを行っています。この取り組みにより、住民の満足度が約20%向上しました。また、兵庫県丹波篠山市では、ICTプラットフォームを導入し、登録事業者の情報をオンラインで公開することで、透明性を確保し地域事業者の参加意欲を高めています。さらに栃木県宇都宮市の登録制ビジネスサポートデスクでは、地域イベントや防災訓練を共同で開催し、コミュニティ連携を強化しています。福岡県久留米市では、地域事業者の登録制度を設け、定期的にセミナーや研修を開催することで、事業者の質を向上させ住民からの信頼を得ることに成功しています。加えて、地産地消の観点からも、このマッチング窓口の設置は重要です。町内の事業者を活用することで、地元の資源やサービスを最大限に生かし、地域経済を循環させることができます。これにより、町民は地域に根ざしたサービスを利用でき、事業者は安定した市場を確保できるため、相互の利益をもたらす仕組みが生まれます。これらの成功事例を参考にし、富士川町でも登録制町内事業者マッチング窓口を設置することで、町民には信頼できる事業者選定を、事業者には安定した受注機会と町政参画の機会を提供する仕組みができると思い、以下の8点について見解を伺います。今回も富士川町の未来を語ろう活性化プロジェクトの参加者からの意見や町民の意見をもとに質問させていただきます。

それでは通告に沿って質問していきます。質問事項1、登録制町内事業者マッチング窓口の設置について。まずこの窓口を設置した場合のメリットについて質問していきます。(1)導入した場合、町内登録事業者への受注機会拡大による地域経済活性化の効果について。登録制町内事業者マッチング窓口の導入により、町民から町内の登録事業者への受注機会が拡

大し、地域内での経済循環が促進され、ひいては地域経済の活性化に繋がると考えます。この点について町のお考えをお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。登録制町内事業者マッチング窓口の設置による地域経済活性化への効果につきましては、現在マッチング制度は実施していないため、具体的な効果の試算はできておりません。しかしながら、登録制マッチング窓口を設置した場合、町内事業者への受注機会の拡大が期待できることから、地域経済が活性化することが予想されます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

それでは次に（2）登録事業者の審査基準設定により、町民が安心安全な事業者を選択できるメリットについて。導入にあたって町が一定の審査基準を設けることにより、町民は安心かつ信頼できる事業者を選択できるようになり、住民にとって安全性の向上というメリットがあると考えますが、この点について町のお考えをお伺いいたします

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えします。登録事業者の審査基準を設置する場合、事業者の信頼性や実績などが明確になることから、町民にとってより安心した事業者の選定が可能になると考えます。しかし、行政が登録制町内事業者マッチング窓口を設置する場合は、法的な観点や運用上の注意点及び問題点を踏まえ、慎重に検討する必要があると考えます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に（3）高額請求や工事不良等のトラブル未然防止効果について。私の周囲の町民からは他地域や県外の業者、さらには訪問販売業者による高額請求や工事不良などのトラブル事例が実際にあったと伺っております。このような事例を未然に防ぐためにも、信頼性の高い町内事業者の登録されたマッチング窓口の導入は有効であると考えますが、この点について町の見解をお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

近年、高額請求や工事不良等に関するトラブルが報道されており、こうした問題が生じるリスクが高まっておりますが、地域事情に精通した町内事業者であれば、情報や実態が把握

できるため、トラブルの未然防止に繋がります。こうしたことから、町内制、登録制町内事業者マッチング窓口を設置した場合、トラブル回避のための有効な抑止力になるものと考えます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に（４）登録事業者の行政参画意識向上と町の賑わい創出効果について。登録制を導入することで、登録事業者にとっても町政に参画しているという意識が高まり、町との情報共有や行政との関わりが活性化することが期待されます。その結果として、町が主催する各種イベントへの協力や出店依頼などもスムーズに行えるようになり、町全体の賑わいの創出に繋がると考えますが、この点について町のお考えをお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。登録制町内事業者マッチング制度によって登録された事業者は、町の政策及び施策への積極的な参画意識や地域貢献の意欲が高まることが考えられます。さらに、登録事業者が町の活性化に向けて自らの役割を認識し、協力することで、町の賑わいを生み出すことが可能であると考えます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に（５）災害時や緊急修繕における信頼できる地元業者への迅速な手配体制について。災害発生時や道路施設等の緊急修繕が必要な場合においても、登録事業者一覧を活用することで、迅速かつ信頼できる町内事業者を即時に手配できるという大きなメリットがあると考えますが、この点について町の見解を伺います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。登録制町内事業者マッチング窓口を設置した場合、信頼できる地元事業者のリストが整備されることで、災害時や緊急時には速やかに対応できる体制を構築することが可能となります。これにより、災害時には町民の支援を優先的に呼びかけることができ、町民の安心感にも繋がります。さらに、町民と地元事業者との連携強化が進み、地域全体の防災力の向上が期待されると考えます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に（６）登録手続きの煩雑化や手数料負担により、中小零細企業の登録を断念するリスクについて。メリットが多々ある一方で、登録に係る手続きが煩雑であったり、登録手数料

の負担が過大であった場合、特に中小零細企業にとっては登録を断念せざるを得ない状況が生じかねません。その結果、登録事業者のラインナップが偏り、町民にとっての選択肢が狭まるといったリスクが生じると考えますが、この点について町はどのように考えるかお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。登録制町内事業者マッチング窓口を設置した場合、登録手続きの煩雑化や手数料の負担は、登録を断念する要因となることから、煩雑な登録手続きは避けることが望ましいと考えます。しかし、行政が実施する場合、要件を満たすための書類作成や証明書取得に伴う手数料負担など、事業者に一定の負担がかかるものと考えられます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に（7）登録促進のための手続き簡素化、オンライン対応、手数料軽減、免除等の具体的支援策について。こうした事業者の申請意欲低下を防ぐためには、登録手続きの簡素化、オンライン申請サポートの導入、さらには申請手数料の軽減、免除措置など、幅広い業者が参加しやすくなる環境整備が必要であると考えますが、町としてどのような具体的施策が現時点で検討できるかお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在、町では、登録制町内事業者マッチング窓口を設置しないしていないため、現時点では手続きの簡素化やオンライン対応、手数料等についての検討にはいたっておりません。しかし、マッチング窓口の設置についての検討をするにあたっては、商工会等の関係団体と連携することで、手続きの簡素化が図られるかなど、具体的支援についても調査研究を進めてまいりたいと考えます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

最後に（8）ですね、以上のメリットデメリットを総合的に検討し、町民の安心安全確保と地域コミュニティ強化を両立するマッチング窓口の導入について。これまで質問してきたメリット、デメリットを総合的に検討し、町民の安心安全を守るとともに、地域コミュニティを強化する仕組みとして、登録制町内事業者マッチング窓口を導入する考えがあるか町長の見解をお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

ただいまのご質問にお答えいたします。登録制町内事業者マッチング窓口の設置については、行政としての法的な観点や運用上の注意点及び問題点を慎重に検討する必要があります。その一方でですね、他団体での事例や商工会などの他団体との連携についても、検討していきたいと思っております。鮫田議員からですね他の自治体の事例、また様々な詳細の部分まで、あのご提案、ある程度の事業モデルのフレームというのは、議員の中で持ってらっしゃるというふうに感じました。私もですね過日の町民との対話集会の中で、この部分を発言させた部分、発言させていただいたということもあります。導入について最適な仕組みが構築できるかなどをしっかりと調査研究を進めてまいりたいと思います。以上です。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

前向きに、再質問ですけど前向きに検討するというお答えでしたけれども、現時点で町長はこのマッチング窓口、どのようなイメージとかどう捉えられてどういう印象があるのか、またちょっと町長のお考えをお伺いしたいと思っております。

○議長（堀内春美さん）

町長 望月利樹君。

○町長（望月利樹君）

まさにですね今マクロ的な視点で見ると、日本全国の地方自治体が疲弊していった地域経済がすごくですねしぼんできている状況になっている。こうなったときにやはり地域間競争という部分も生まれてきている。そんな中で地元事業者をどうやって育成していくかということ、そして顔が見える商売をしていただくこと。これを独占禁止法とですね自由競争に抵触しない中でですね、できる限りですね顔が見える事業者さん地元でですねフェイストゥフェイスのこういう商売というのもしっかりと喚起していかなきゃいけないというふうに思っております。

一方で議員がご指摘したとおりですね、例えばトラブルですね、安いからとか公告でやってたからとかそして施工がですね、少ない業者かもしれないですが、もしかすると手抜き工事等があってトラブルという部分もですね、地元の業者さんとマッチングができればですね、そういった部分も防げるんじゃないかなというふうに思っております。様々なメリットデメリットがあると思います。先進事例もしっかりと研究しながらですね、今後この富士川町内にですね、どうやって落とし込んでいけるかということ、積極的に検討していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

はい、ありがとうございます。以上の8点に関する質問を踏まえて、富士川町における登録制町内事業者マッチング窓口の設置は、地域経済の活性化や町民の安心安全確保、事業者の町政参画促進に寄与する重要な施策であると考えます。これにより、町民は信頼できる事

業者を選びやすくなり、地域内での経済循環が促進されることで、町全体の活力が向上します。またこの取り組みは、富士川町の総合計画に掲げた地域経済の強化と、住民の生活の質の向上にも直接貢献するものです。さらにSDGs、持続可能な発展目標の目標8働きがいも経済成長も、目標11住み続けられるまちづくり及び、目標17パートナーシップで目標を達成しように沿った取り組みとして、地域資源を活用し、持続可能な経済活動を促進することが期待されます。特に町内事業者住民、行政が連携して取り組むことで、相互の信頼関係を築き、より効果的な政策の実現が可能となります。他の自治体の成功事例を参考にし効果的な運営体制や評価基準を設けることで、持続可能な取り組みへと発展させることが重要です。町として、住民と事業者がともに成長し、互いに支え合える地域社会を築くために、この提案を前向きに検討し、具体的な制度設計や運営体制の整備を早急に進めていただくことを強くお願い申し上げます。

それでは質問事項2、町民プールの改修と有効活用についての質問に移ります。本町の町民プールは、長年にわたり多くの町民に親しまれ、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康づくりや交流の場として大きな役割を果たしてきました。しかしながら、施設の老朽化が進んでいる他、近年の夏季の高温化により、プールサイドの表面温度が非常に高くなり、利用者が素足で歩けないほどの状況となるほど安全面での課題も指摘されています。

それでは(1)の質問です。町民プールの老朽化対策および安全性確保に向けた改修計画について、現時点での検討状況をお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 齋藤栄治君。

○生涯学習課長（齋藤栄治君）

ただいまの質問にお答えします。町民プールにつきましては、昭和56年の建設以来、町民の健康増進と多世代交流の重要な拠点として、多くの方々にご利用いただいている貴重な公共施設であり、これまで側面、底面の塗装や床面マットの設置といった改修を行ってまいりました。こうした中、令和3年度に策定した社会教育社会体育施設長寿命化計画では、令和25年に管理棟、令和30年にプール本体の改修を予定をしておりますが、建設から40年が経過した現在まで、大規模な改修は行っておりません。こうしたことから、安全性確保を最優先に段階的かつ計画的な改修と機能向上を進めることが喫緊の課題であると考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

次に(2)の質問に移ります。プールサイドの遮熱塗料など、環境配慮型素材を活用した暑熱対策について。現在の町民プールには、プールサイドにマットが敷いてありますが、敷かれているマットも老朽化が進みボロボロになっている状況です。また地球温暖化の影響が強まる中、公共施設における暑熱対策や環境配慮は全国的にも重要な課題となっております。最近では太陽光を反射し表面温度の上昇を抑える暑熱性塗料や断熱性コーティング剤なども実用化されています。こうした新技術を活用することで、熱中症対策や利用者の安全確保を

図ることが可能です。暑熱性塗料など、すいません遮熱性塗料などの新しい素材を採用することで表面温度の上昇を抑え、利用者の安全性を確保するとともに、施設の長寿命化や維持管理コストの低減にも繋がります。このような改修は富士川町第三次総合計画が掲げる、環境に優しく持続可能な地域づくりという基本目標に合致するものであり、またSDGsの目標13気候変動に具体的な対策を、にも通じる取り組みです。本町においても、今後の改修に当たってはこうした環境配慮型素材の採用を積極的に検討しされてはいかがでしょうか。また、施設改修の機会を単なる修繕に留めず、環境負荷の軽減と利用者安全の両立を図る実践例として位置づけていただきたいと思いますと考えますが、当局のお考えをお伺いいたします。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 齋藤栄治君。

○生涯学習課長（齋藤栄治君）

ただいまの質問にお答えいたします。現在、利根川プールのプールサイドに敷設してあるマットにつきましては、設置から相当年数が経過し経年劣化が激しい状況となっております。こうしたことから、マット入れ替えの際は、従来のマット敷設方式でなく、塗装面の温度上昇を抑える遮熱塗料等の環境配慮型素材を活用した対応が可能かどうか、事例調査を含め総合的に検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

最後に（3）の質問に移ります。町内小中学生への無料開放など、次世代育成と健康増進に資する活用策について。こちらは提案をしていきたいと思っております。水泳は基礎体力の向上、心身の健全育成、防災教育の一環としても非常に有効です。学校プールの使用機会が減少している現状を踏まえると、町民プールを教育的、社会的資源として活用することは、第三次総合計画に掲げる、第三次総合計画における誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりにも通ずるものです。またSDGsの目標13全てのの人に健康と福祉を、目標の11住み続けられるまちづくりを、の理念にも合致し、町としての次世代支援の姿勢を示す機会になると考えます。町民プールは町民が健康を育み、世代を超えて繋がる地域の拠点であります。改修の際には、環境への配慮と子どもの家健全育成の両立という観点から、総合計画とSDGsの理念に基づいた整備、活用を検討していただき、町内の小中学生を対象に無料開放を行うことで、子どもたちの健康促進と家庭の負担軽減を図ることができると思っておりますが、当局のお考えをお伺いします。

○議長（堀内春美さん）

生涯学習課長 齋藤栄治君。

○生涯学習課長（齋藤栄治君）

ただいまの質問にお答えします。町民プールの町内小中学生以下への無料開放につきましては、子どもたちの健全育成と健康増進を図る上で極めて有効であるため、実現に向けて積極的に検討してまいりたいと考えております。こうしたことから、今後、財政状況を勘案しながらも、持続可能な運営方法を確立し、子どもたちが気軽に利用できる施設として有効活

用を図ってまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

鮫田洋平君。

○11番議員（鮫田洋平君）

積極的に前向きに検討をお願いいたします。町民プールは子どもたちの笑顔と町民の健康を支える町の宝です。この改修をきっかけに環境に優しく安全で、そして未来の子どもたちにも誇れる施設へと生まれ変わる変わらせることができれば、本町な持続可能なまちづくりの象徴となるはずで。総合計画とSDGsの理念を実現する実践の場として前向きに検討していただきたいと思。います。

これからもこの議場におられます皆さま、また町民の皆さまとともに、アイデアを出し合いながらこの富士川町をつくっていき。きたいと思。います。以上で私の一般質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で、通告1番 11番 鮫田洋平君の一般質問を終わります。